

札幌市立常盤小学校の取組

1. 研究のねらい

P O P 等を活用したポスターでその本の内容を紹介する言語活動を通して、紹介したい本を自ら選ぶことができ、いろいろな本や文章を目的に応じた読み方で読み取ったり、相手に伝わるように表現したりすることができる子を育てる。

自分の生まれた日のことを当時の新聞から調べ、みんなに紹介するという言語活動を通して、相手に分かりやすく伝わる文章や表現方法を考えるなど、相手意識をもって表現できる子を育てる。

2. 取組内容

(1) P O P 等を活用したポスター作りの取組

①学校図書館を活用した活動

最初に、読書に慣れ親しみ、読み込んでいく方法を学ぶ学習に取り組んだ。紹介したい本を学校図書館で選び、じっくりと読み込む活動を行った。子どもたちは、その本の中でみんなに紹介したい内容をとらえ、キャッチフレーズを構想する。この活動は今後の P O P 作りの基礎となる取組となった。

②中央図書館での活動<本選び>

自分たちが選んだ本を魅力的に紹介するため、P O P を活用したポスター作りの活動を行うこととした。

中央図書館で自分が紹介したい本を選び、実際に貸し出しをしてもらった。中央図書館には多くの本があり、それらの中から短時間で自分の考えに合った内容の本を選ぶ経験をすることができた。図書館を利用すると多くの情報を得ることができて便利であるが、情報を選択する力が必要になってくる。



③学校での活動

ポスターを作成する前に、P O P の作成のポイントを確認する。①本の情報を提供する。②選びやすくする。③楽しませる。の三つである。子どもたちは、このポイントを押さえ、借りてきた本の魅力を紹介する取組を行った。できた P O P を鑑賞し合い、お互いの表現のよさなどを交流する活動となった。



(2) 「自分の生まれた日を調べよう」の取組

① 事前の学習活動

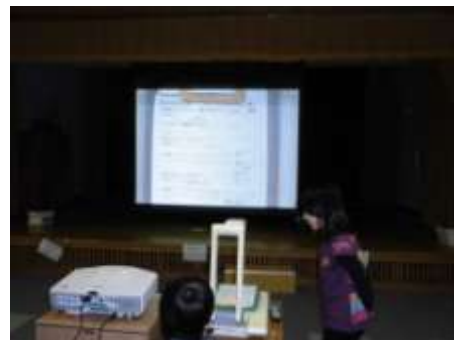
新聞を購読していない家庭もあり、子どもたちは新聞を読む機会が少なくなってきた。そんな中、新聞から内容を読み取るという経験をもたせようと、事前に新聞を読む授業を行った。事件やお知らせの記事、テレビ欄、宣伝広告のページなど、新聞の構成について学習し、新聞の中にはどのようなことが書かれているのかをあらかじめ知った上で学習に望むこととした。新聞を読む上で、まだ習っていない漢字や難しい言葉などをどう理解させるのか、クリアしなければならない課題はいくつかあったが、教師が的確に支援して、進めることができた。



② 中央図書館での活動

中央図書館には、子どもたちが生まれた日の新聞資料を事前に準備していただいた。子どもたちがその中から自分の誕生日の記事を読み取り、他の人に知らせたい内容を選んで自分のノートに記録していった。

記録したものをもとに、その場で発表を行った。どのような出来事があったか詳しく説明し、自分の考えや感想を述べる活動を行った。



3. 成果と課題

(1) 成果

ポスター作りでは、事前の学習の経験をふまえ、子どもたちは活動のねらいをよく理解し、紹介したいイメージや物語の場面を明確にもちながら意欲的に読書活動や表現活動に取り組むことができた。また、作品を展示することで、活用された喜びをもつとともに読書への新たな意欲化につながった。

伝えたい相手のことを考え、どの様にしたら分かりやすく伝えられるのか、どの様にしたら興味をもって見てくれるのかなど、相手意識をもって取り組むことの大切さを学ぶことができた。そのために印象的な場面を絵や文で表すことや絵や文の効果的な構成の仕方について等、伝える技術を身に付けることができた。

(2) 課題

新聞記事を読み取る能力が4年生の段階では難しい面がある。未習の漢字があったり、小学生にとって難しい内容や言葉があったりする。その部分を教師がどのように支援できるかが今後の課題である。